

目次

空間をプレイする	武井 敏……………1
公益財団法人碌山美術館規程の改正	幅谷 啓子……………2
中原悌二郎の写真コレクション(四)	武井 敏……………3
第一一四回碌山忌記念対談	
井上涼トークセッション	井上 涼……………9
「表現とアイデンティティ☆」	濱田 卓……………9
特別企画展	
「森靖展—Gigantization Manifesto—」記念対談	森 靖……………30
「彫刻S XYZ vol.3」	田中 修……………30
令和六年 日記抄	……………47
サポートメンバーシップ参加法人	……………48
令和七年度企画	
寄贈作品資料	
令和六年度役職員ほか	

公益財団法人碌山美術館規程の改正

館長 幅谷啓子

碌山美術館では令和三年に現代彫刻家の「篠田守男展」を秋から一月まで、三年後の本年度若手彫刻家の「森靖展」を秋から冬にかけて開催いたしました。現代彫刻展の開催によって、近年に無く入館者の年齢層は若者が増加し、未来に期待が持てます。今後も荻原守衛の顕彰を中心に広く質の高い企画展を進めていくためには、特定費用準備資金に関する規程の見直しが必要であると改正をいたしました。

碌山美術館の定款に定めている事業は「碌山美術館の設置及び運営」、「荻原守衛の作品及び資料の整備並びに保存」、「荻原守衛に関係する作家の作品及び資料の収集並びに調査研究」、(四)に「地方美術及び文化の発展のための顕彰普及事業」となっております。この事業(四)の顕彰普及事業が「特定費用準備資金に関する規定」には無く『地方美術及び文化の発展のために寄与する事業』の項目を加えました。

本年度の特別企画展の入館者が三年前の篠田守男展をご覧になって、碌山美術館の特別企画展なら間違いのないと思いきや、森靖展もご期待通りの企画展だったとご感想をいただきました。

今後もさらなる準備資金の充実と質の高い企画展を開催することで、碌山美術館の発展及び文化の発展に尽くしていきたいと考えております。